

整備されたまち

森南第一地区 森南第二地区 森南第三地区

■地域の声

森南地区は、昭和初期に区画整理されていることから、事業当初は根強い反対がありました。しかし、JR甲南山手駅の開設を考慮し、当地区は東の玄関口という位置づけがなされ、住民と行政によって区画整理事業は進められました。

当地区は商業地・住宅地が比較的はっきり分かれており、それぞれにあったまちづくりが必要でした。市とまちづくり協定も締結しており、良好な住環境の確保に努力しています。国際都市にふさわしいきれいなまちにしていこうとめざしています。

1 稲荷筋（本庄本山線）

森稲荷神社に通じるので、古くから「稲荷筋」と地域の人たちに呼ばれてきました。「稲荷之従是三町」の道標は、西国街道の本街道（現在の国道2号の位置）から稲荷神社へ向かう場所に建てられたものです。道標近くには、森稲荷神社の一の鳥居として、朱鳥居が建てられています。また、深江の浜でとれた魚を、ここを通って有馬まで運んでいたことから「魚屋道（とみやみち）」という名でも知られています。その由来を示す石碑がJRの南側に建てられています。

現在、震災復興地区区画整理事業により都市計画道路「本庄本山線」として拡幅整備されています。歩道には、魚を描いたタイルが埋め込まれています。



朱鳥居と道標



魚屋道の由来を示す石碑



魚を描いたタイル

2 通学路

セルバから本山第三小学校に続く道路で、学校への通学路として利用されています。今回の区画整理事業で、側溝を暗渠にし、ブロックで路側帯を目立たせています。



路側帯のブロック



通学路の風景
(正面奥は本山第三小学校)

9 森公園

森公園が開園したのは昭和10年で、今回の震災復興地区区画整理事業により少し拡張されました。再整備にあたっては、地元の皆さんが参加するワークショップにより、整備計画案を作成しました。



慰霊碑



せせらぎ



遊具

8 駅前広場

この広場は、住民によるワークショップをもとに森南町1丁目まちづくり協議会が整備計画をまとめ、住民と神戸市の「協働」のまちづくりによって整備されました。歩行者が中心となり、誰もが安全で快適に通行できるように、自動車自転車等での乗り入れができないようになっています。

広場の西側は「うるおいやすらぎの広場」、中央部は「まちの顔となる玄関広場」、東側は「まちのコミュニティの核となる広場」とされており、愛称を「和(なごみ)広場」と命名されています。また、100トンの耐震性防火水槽と消防設備を備えています。



御影石のオブジェ



住民による清掃



広場西側より



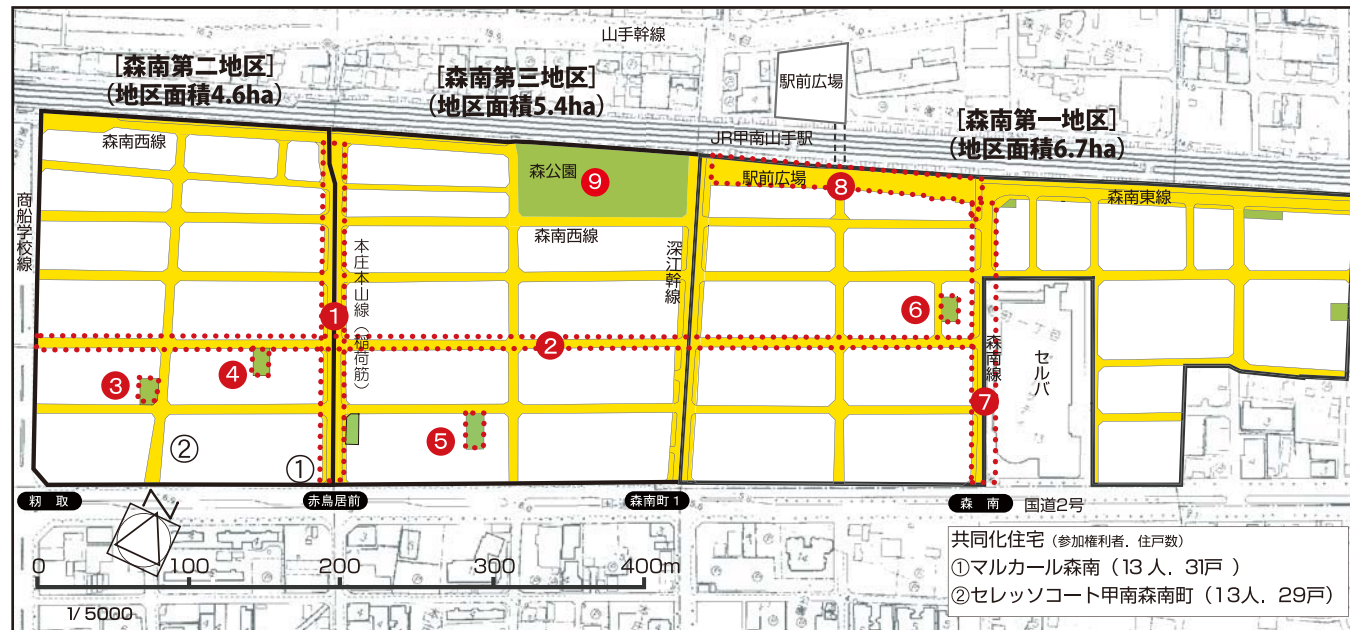
井戸



広場東側より



LED(発光ダイオード)による光の帯

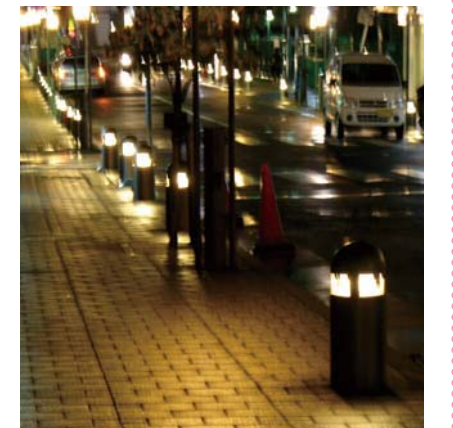


7 街灯、フットライト（森南線）

セルバ沿いの森南線では、住民の提案・デザインによる街灯、フットライトを整備しています。



街灯、フットライト



夜間の風景

ポケットパーク

防災機能を備えたポケットパークを整備しています。

森南第二地区（本山中町1丁目）のポケットパークは、住民の要望を受けて、100トンの耐震性防火水槽と消火施設が整備されています。



3 森南第二地区(本山中町1丁目)

森南第二地区（森南町3丁目）のポケットパークは、ステージの下を防災機具を入れた倉庫として利用しています。また、手押しポンプも設置しています。



4 森南第二地区(森南町3丁目)

森南第三地区（森南町2丁目）のポケットパークは、地域の小学生が「なかよしばあ」という愛称を付けてくれました。



5 森南第三地区(森南町2丁目)

森南第一地区（森南町1丁目）のポケットパークは、まちの小さな遊び場となることをテーマに作られました。また、手押しポンプも設置しています。



6 森南第一地区(森南町1丁目)